

# 北海道の看護師等学校養成所の状況と当校存続への取り組み－生き残りをかけた戦略－

坂本美和子<sup>†</sup>第77回国立病院総合医学会  
2023年10月21日 於 広島

IRYO Vol.78 No.6 (379-383) 2024

## 要旨

国立病院機構北海道医療センター附属札幌看護学校は、国立病院療養所時代の札幌市内3校を2003年に統合し、大型校として開校し21年目を迎えた。北海道の看護専門学校としての歴史は古く、北海道唯一のNHO附属養成所であり、高校や予備校からは国公立大学看護学部に次ぐような偏差値でレベルが高い学校と認知されている。

北海道においては看護系大学が13校あるが3年課程看護師養成所（以下看護専門学校とする）が37校と多く、2019年までは受験者数も看護専門学校の方が多かった。しかし、社会の流れと同様に看護系大学が募集定員を増やし、1学年定員を150名とした大学もあり、4年制志向が高まる中での学生獲得は激戦である。

当校においても出願数がピークだった2018年から応募者数は徐々に減少してきてはいたが200名を維持していた。その状況から2023年度入学試験では前年度より32.1%減少と激減した。北海道内の看護師確保状況は充足の見込みはたっており、地方の看護師不足は病院存続において重点課題となっている。社会の変化に対応し、国の政策医療や地域医療への貢献ができる看護実践者を育成している当校の役割は大きい。

北海道内の看護職員の需給状況からみても大学は就職の段階で道外への流出も多い。地域に根差した看護師養成所の学生確保は重要である。当校の存続をかけた出願数の回復をはかるための方策と結果、今後の課題について報告する。

キーワード 学生確保, 3年課程, 看護専門学校, 入学試験

## はじめに

北海道内の国立病院機構（以下NHO）の看護師養成所は、閉校や統合を重ね、現在は北海道医療センター附属札幌看護学校の1校のみとなっている。NHO看護師養成所として大型校になる以前からの

歴史があり、多くの卒業生を送り出してきた。NHOへの就職率も70%を超え、地域の看護師輩出へも大きく貢献している。

大学進学にかかわる18歳人口が2018年を境に大幅な減少期に入った。看護専門学校の入学者総数は2010年以降毎年6万人を超えていたが、2018年を

国立病院機構北海道医療センター附属札幌看護学校 副学校長 <sup>†</sup>看護師  
著者連絡先：坂本美和子 国立病院機構北海道医療センター附属札幌看護学校  
〒063-0004 北海道札幌市西区山の手4条6丁目2番22号  
e-mail: sakamoto.miwako.rq@mail.hosp.go.jp  
(2024年3月25日受付 2024年4月19日受理)

Status of Nursing Schools/Colleges in Hokkaido and Our Strategy for Sustainable Developmental Goals  
Miwako Sakamoto NHO Hokkaido Medical Center Sapporo Nursing School  
(Received Mar. 25, 2024, Accepted Apr. 19, 2024)

Key Words: student recruitment, 3-year-course, nursing school, entrance examination